

診療ガイドライン委員会の歴史

本委員会は2000年10月に設立されたEBM勉強会を母体とします。EBMの手法を実地の小児科外来診療に活かすこと。会員の診療行動にインパクトを与えることを期待して第1回の勉強会が2000年10月21日に開始され、以後月1回のペースで東京の社会保険中央総合病院にて開催されました。2002年7月27日の第22回EBM勉強会で終了し以後「診療ガイドライン作成検討会」に移行しました。

診療ガイドライン検討会と名称変更後 場所も虎の門病院に移りました。その後本検討会は診療ガイドライン委員会の下部組織となり、日々の活動を行っています。

EBM 検討会での学習内容

EBM 関連参考書 (CD-ROM を含む) および web site

臨床上の疑問の掘り出し

臨床上の疑問の解決法と情報収集法

臨床上の疑問の明文化の方法

患者にとって有用な診療結果の設定

組織的な文献検索法

インターネットを用いた検索

文献の批判的吟味のやり方

エビデンスの強さの評価

無作為対照試験

意図した通りの治療に基づく解析 (Intention to treat analysis : ITT)

メタアナリシスのやり方

EBM の手法を用いたガイドライン作成方法

既存の EBM 作業結果・メタアナリシス・ガイドラインの検索法

コクラン共同計画

エビデンスを目前の患者に適用する方法

EBM と患者の自己決定

エビデンスの強さと裁量

個別の医師や個別の医療機関の診察結果のエビデンス

特定の患者のエビデンス (n of 1 trial)

EBM・ガイドラインの功罪 など

EBM の手法について学んだ後 以下のテーマで検討が行われました。

- 1) 下痢のときのミルクは薄めるべきか
- 2) 喘息児に対してステロイド吸入は有効か
- 3) 溶連菌感染後の尿検査は必要か
- 4) 熱性けいれんへの抗けいれん薬の使用は有用か

診療ガイドライン(作成)検討会での活動

- 1) 下痢の治療法 経口補水療法
- 2) 気管支喘息への吸入ステロイド
- 3) 気管支喘息へのロイコトリエン受容体拮抗薬の有用性
- 4) 小児の高脂血症
- 5) 夜尿症の治療
- 6) マイコプラズマ感染症の治療
- 7) ワクチンの同時接種の安全性
- 8) 小児の便秘の治療